

⑩さいたま市将来人口の推計方法について(すう勢ケース)

■将来人口の推計方法

- さいたま市における将来人口は、さいたま市総合振興計画後期基本計画における推計値を基本とする。
- ただし、同推計値における平成27年値を、**平成27年の国勢調査実績値が上回っているため、その差分を将来推計値に上乘せする。**
- さいたま市の区別人口についても、同じ考え方により総合振興計画推計値の補正を行う。
- その数値を**今年度実施する需要予測に使用する。**

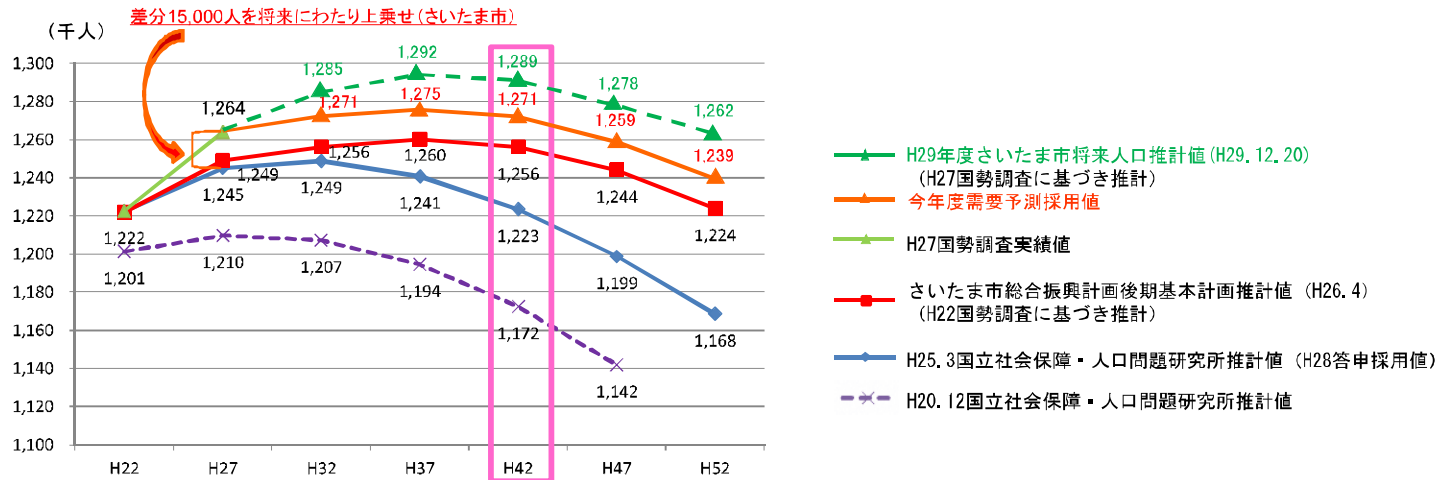


表 さいたま市の将来人口推計

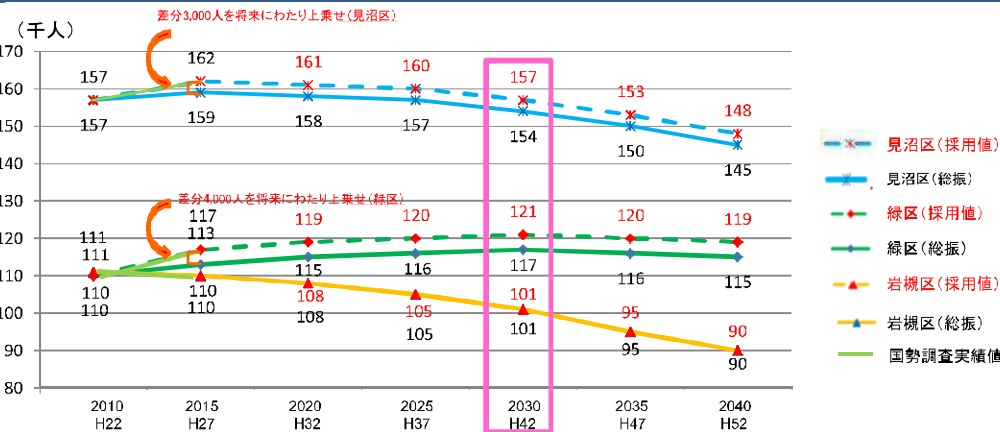
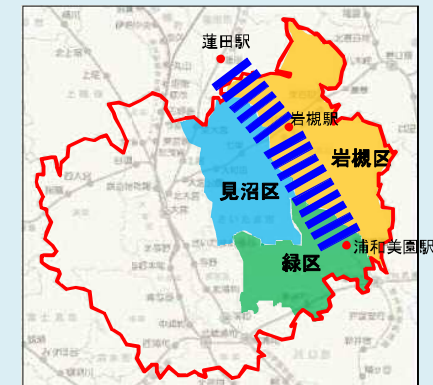


表 緑区・岩槻区・見沼区の将来人口推計



《延伸線のさいたま市内の行政区》

⑪すう勢ケースの浦和美園地区の人口設定(明確な建築計画)について

- すう勢ケース: 浦和美園地区の人口について、民間開発による建築が想定されるが、平成29年までの人口定着の実績値(住民基本台帳)、建築確認申請がされたもの及び保留地の建築など、确实視される人口の増加分を需要予測に反映させ試算する。

《現人口(住民基本台帳)》

- ① 現在のみそのウイングシティの人口
(平成29年8月1日現在)

9,034人

- ・浦和東部第一特定土地区画整理事業地区内
- ・浦和東部第二特定土地区画整理事業地区内
- ・岩槻南部新和西特定土地区画整理事業地区内
- ・大門下野田特定土地区画整理事業地区内の住民基本台帳の合計

《明確な建築計画》

- ② 建築確認申請(平成29年8月以降完成分)

	戸数※1	平均世帯数※2	人数※3
戸建住宅	135	2.3	約310
共同住宅	139	2.3	約320
共同住宅(单身用)	70	1	約70
	344		約700

- ※1 さいたま市に申請されたみそのウイングシティ内の建築確認申請より算定
 ※2 みそのウイングシティの人口の実績値÷世帯数の実績値＝平均世帯数として仮定
 ※3 一桁台を四捨五入して表記

- ③ 保留地 建築見込み(平成30年度以降)

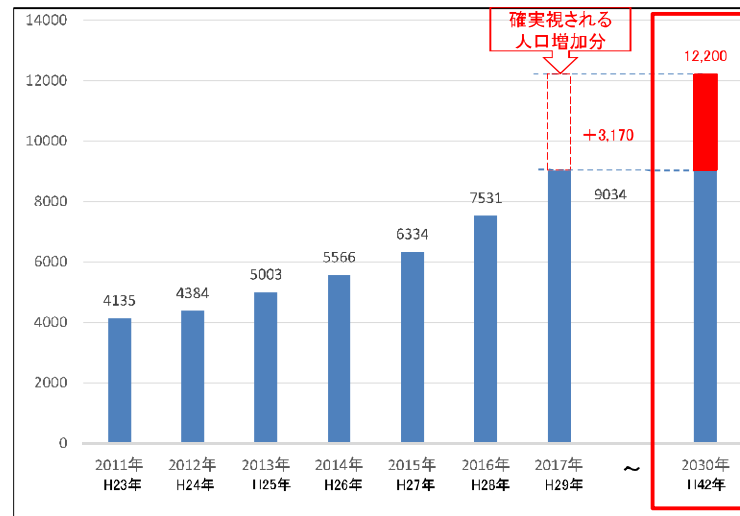
	戸数	平均世帯数※2	人数※3
戸建住宅※4	418 ※6	2.3	約960
共同住宅※5	657	2.3	約1,510
	1,075		約2,470

- ※4 スマートホームコミュニティを含む
 ※5 現在建築中のマンション(入居が平成30年度以降)を含む
 ※6 みそのウイングシティの保留地の販売実績及び最低敷地制限より算出

确实視される
浦和美園地区の人口

①+②+③
9,034+700+2,470
=約12,200人

《みそのウイングシティ 人口の推移》

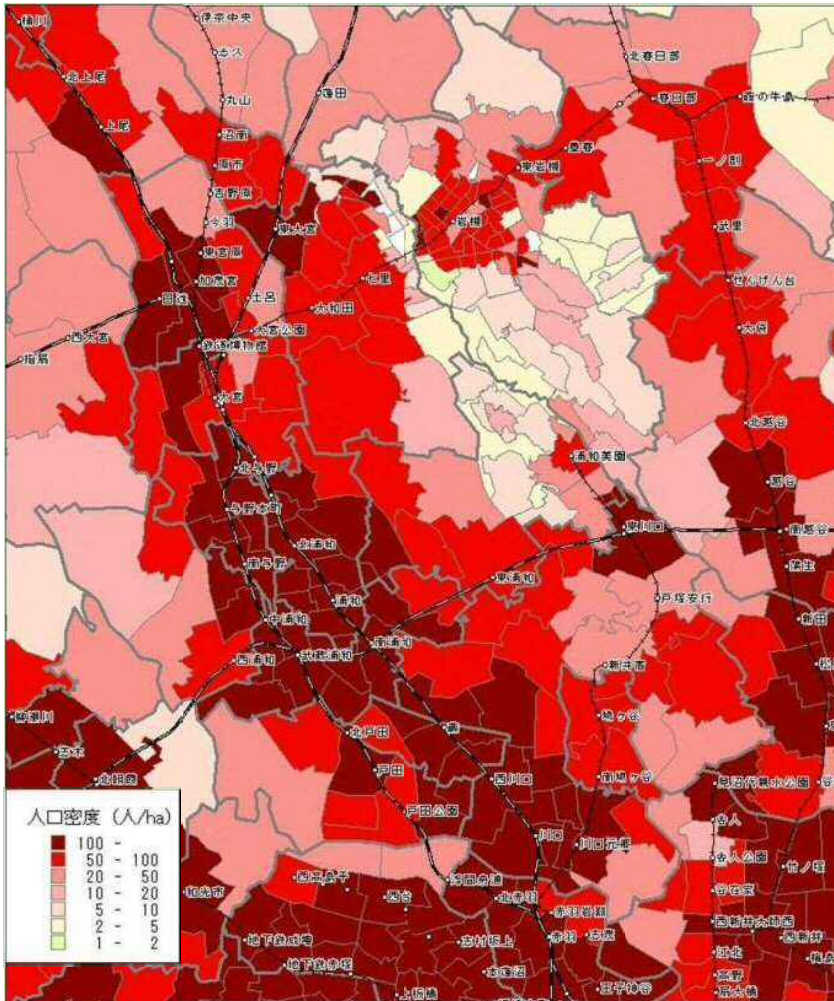


今回の需要予測推計値として採用

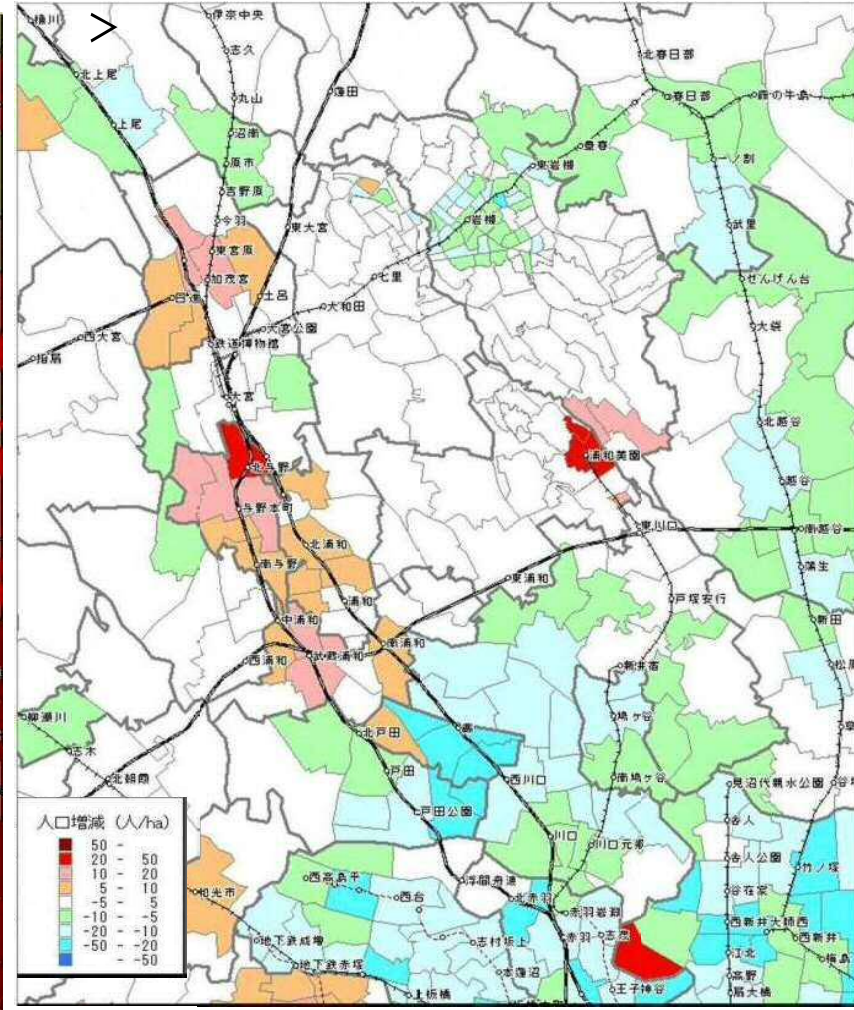
⑫将来夜間人口推計結果(すう勢ケース)

- 左図は、国立社会保障・人口問題研究所における推計値をもとに、平成42年(2030年)時点(予測対象年次)の人口密度を表している。但し、さいたま市については、総合振興計画後期基本計画における推計値をもとにしている。
- 浦和美園地区については、建築確認申請がされたもの及び保留地の建築など、確実視される人口の増加分を反映している。
- 右図は、平成42年(2030年)と平成27年(2015年)(国勢調査の人口)の差を表している。

<平成42年(2030年)>



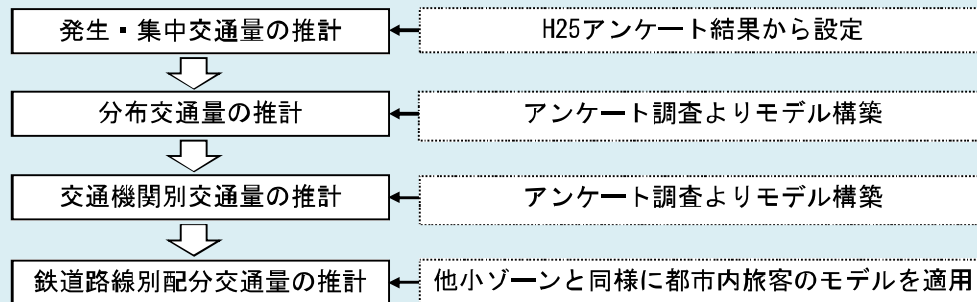
<平成42年(2030年) - 平成27年(2015年)>



⑬大規模商業施設について

■浦和美園駅に近い大規模商業施設の交通需要(従業者、来店者)は、7号線の需要に大きな影響を与えること、また、休日の需要が多いことから、平成25年度に実施したアンケート調査結果を需要予測に用いる。

●需要予測フロー



●アンケート結果

(1) 出発地

さいたま市及び川口市で半数以上を占めているが、さいたま市の中では、大規模商業施設が立地している緑区が圧倒的に多い結果となっている。H18に実施したアンケートとの比較すると越谷市や春日部市は近隣に大規模商業施設開業したため減少しているが、緑区は2倍近くまで増えている。H18、H25のアンケート結果の差を以下に示す。

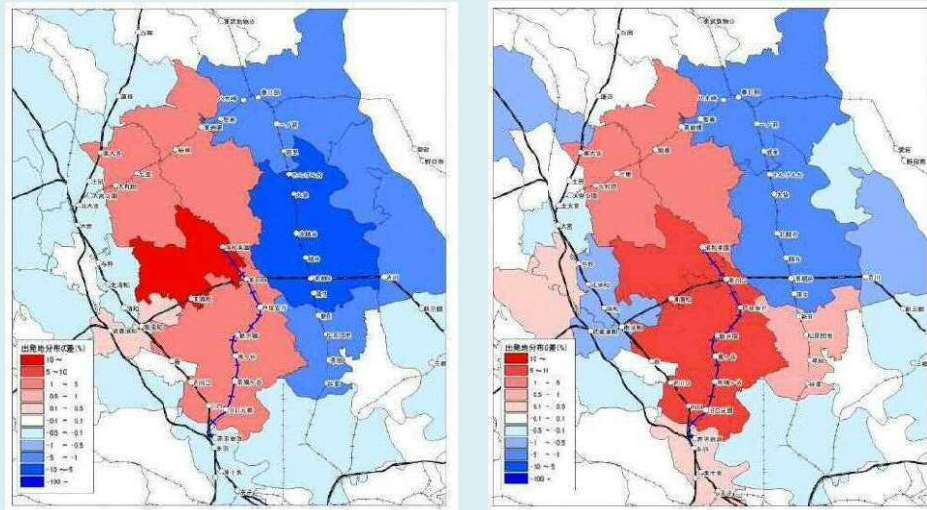


図 来店者の出発地分布の差(左:平日、右:休日)

(2) 利用交通手段

H18と比較すると、従業者では鉄道、マイカーの利用率が下がり、自転車利用率が増加している。来店者では鉄道利用者が減少し、マイカー、自転車及び徒歩の割合が微増している。以下に調査結果を示す。

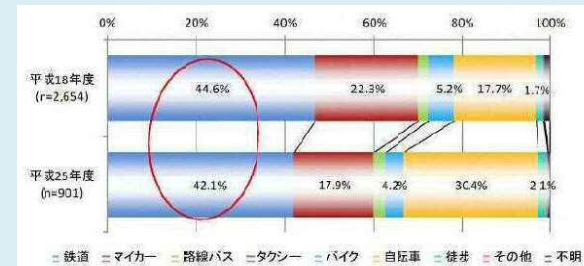


図 大規模商業施設従業者の利用交通手段(平成18年度と平成25年度)

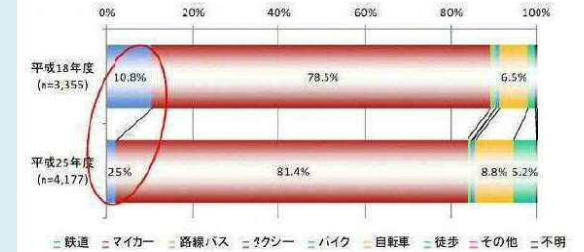


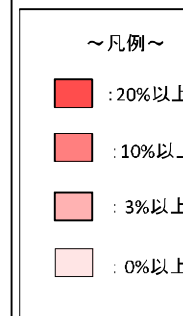
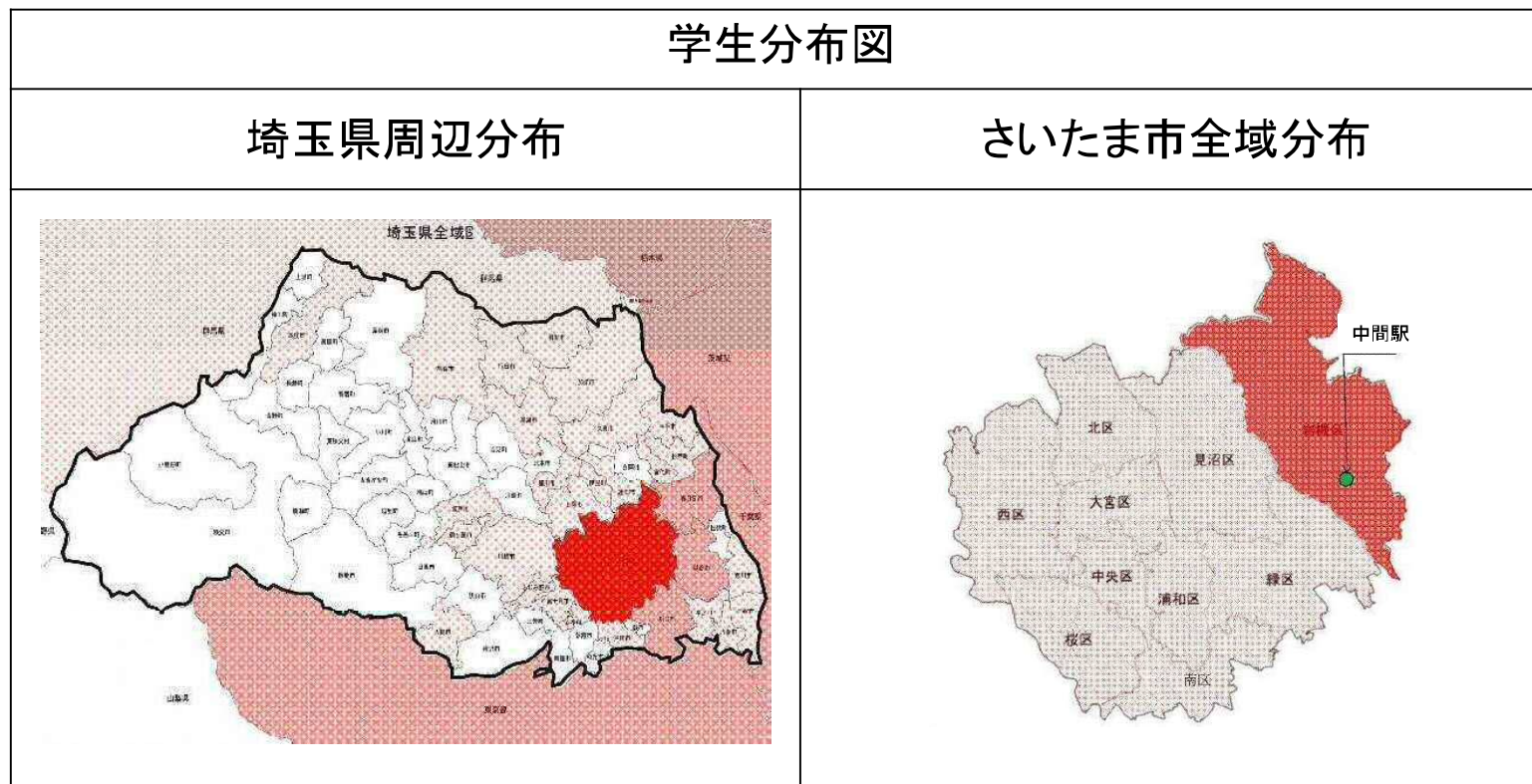
図 大規模商業施設平日来店者の利用交通手段(平成18年度と平成25年度)



図 大規模商業施設休日来店者の利用交通手段(平成18年度と平成25年度)

⑭沿線大学について

■中間駅に近接する沿線大学について、実態に近い数値を採用するために、調査を実施した。以下に沿線大学の学生の出発地の分布を示す。



○分布交通量

沿線大学が含まれる小ゾーンについては、他に大きな学校が見られないことから、当該小ゾーンに集中する通学目的の交通については、平成29年度(2017年度)の調査結果を用いて分布パターンを設定する。

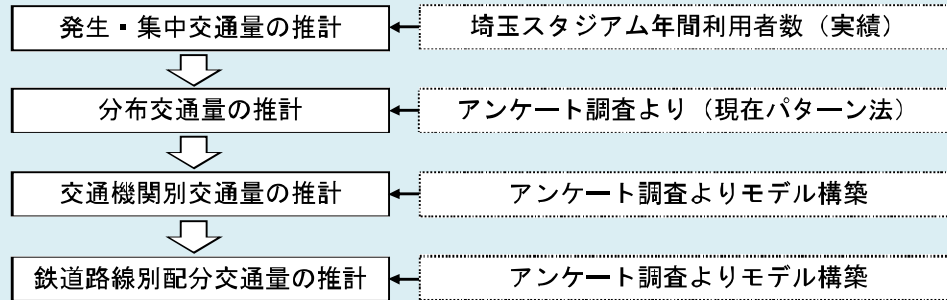
○機関分担

分布交通量と同様、当該ゾーンに集中する通学目的の交通について、平成29年度(2017年度)の調査結果を用いて機関分担率を設定する。

⑮-1 埼玉スタジアム利用者の推計について

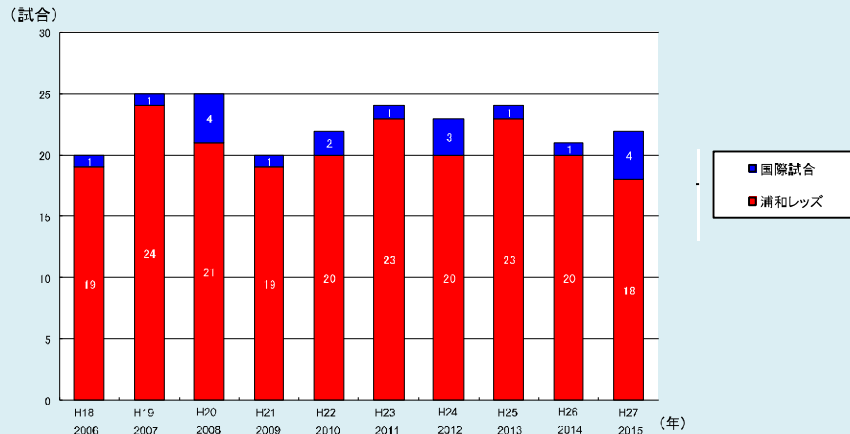
■埼玉スタジアム利用者数の予測についても、都市内交通と同様に四段階推計法を用いて需要予測を行い、交通機関分担、鉄道経路選択についてはアンケートをもとに非集計行動モデルを構築して需要予測に用いる。分布交通量については、アンケート調査結果(平成25年度)をもとにした現在パターン法を用いる。

●需要予測フロー



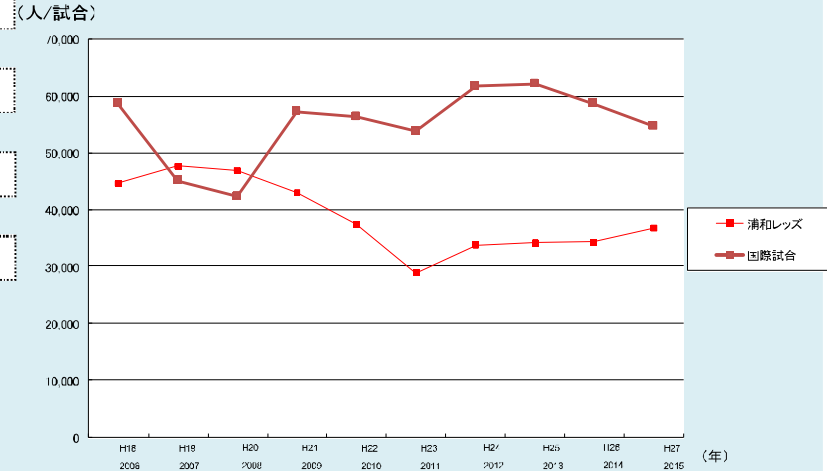
●開催試合数

Jリーグは浦和レッズが埼玉スタジアムを単独の本拠地とした過去10年間における浦和レッズ関係の年間平均(21試合)、代表戦は過去10年間における日本代表戦平均(2試合)とした。



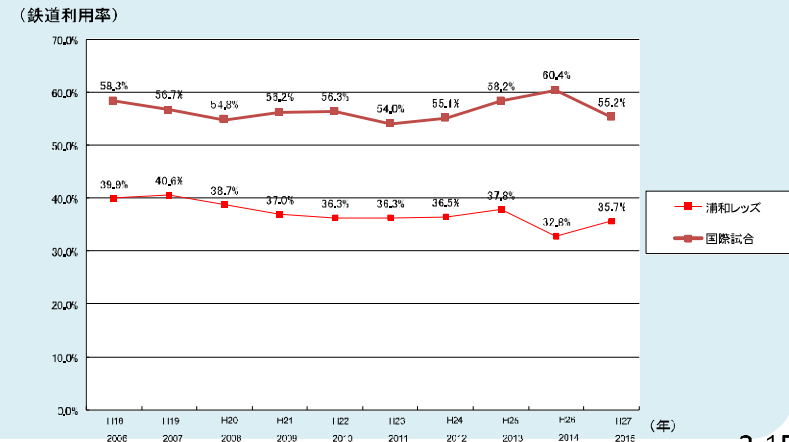
●平均来場者数(1試合あたり)

過去10年間の平均として、浦和レッズ戦38.9千人、日本代表戦56.7千人と設定する。



●鉄道利用率

国際試合の鉄道利用率に大きな変動はないが、浦和レッズ戦は鉄道利用率がやや低下している。なお、予測においては、下記の鉄道利用率を用いるのではなく、交通機関選択モデルを用いて推計する



⑮-2 埼玉スタジアム利用者の推計について

● アンケート結果

(1) 来場者の出発地

来場者の出発地をみると、日本代表戦(平成25.6.4)は、東京都が最も高い割合を占めている。また、市区町村別にみると、首都圏の広い範囲から来場していることがわかるが、中でも千代田区、港区からの来場者が多い。代表戦の試合が平日夜に行われたことから、勤務地から直接スタジアムに来場していることが考えられる。一方で、J1リーグ戦(平成25.10.27)は浦和レッズのホームタウンである埼玉県がと最も高い割合を占めている。次いで東京都であり、内訳は足立区、板橋区、練馬区の東京都北部が多い。対戦相手のホームタウンがある千葉県も3%である。

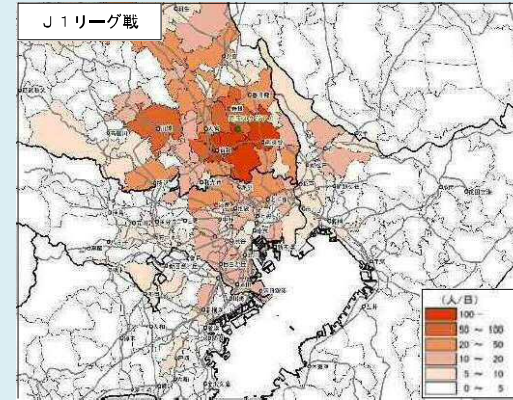
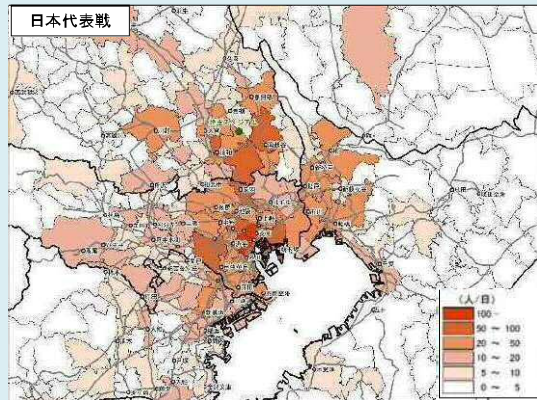


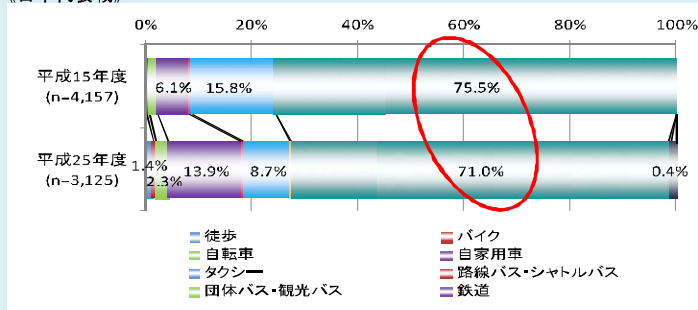
図 来場者の出発地(市区町村別)

(2) 利用交通手段

平成15年度に実施した調査と比較すると、来場者の鉄道利用が減少し、自家用車利用が大幅に増えた。埼玉スタジアム開場(平成13年)から年数が経ち、平成15年度と比較して埼玉スタジアムでの試合開催数も倍以上に増加していることなどから、来場者の来場頻度が高くなり、便利にアクセスできる自動車利用が増加したと考えられる。また、埼玉スタジアム最寄り駅である浦和美園駅から当該施設までの歩行距離が長く、自家用車を利用した方が利便性が高いと判断した来場者が多いと考えられる。

中には、大規模商業施設まで自家用車でアクセスし、当該施設駐車場に駐車して、スタジアムまで徒歩あるいはシャトルバスで来場するといった回答もあったため、大規模商業施設の開店(平成18年)も影響していると考えられる。(浦和美園駅または大規模商業施設まで自家用車でアクセスした来場者については、最終アクセス手段を自家用車としている。)

《日本代表戦》



《J1リーグ戦》

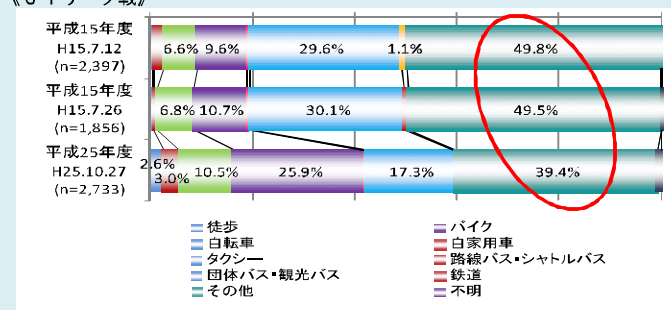


図 来場者の行き最終アクセス手段

⑩-1 医療施設の交流人口の設定について

- 浦和美園駅周辺の大学附属病院等の整備計画について、現在明らかになっているデータや他の事例等から、想定人数を推計し、需要予測に反映する。

注) 想定人数については事務局が設定

No.	施設	想定人数	内訳			
			職員	見舞客	委託業者	周辺薬局
①	大学附属病院等(予定)	約5,000人/日	1,500人/日…(ア)	350人/日…(イ)	500人/日…(想定)	100人/日…(想定)
			学生	2,200人/日…(ウ)		



医療施設位置図

⑬-2医療施設のデータと事例について

	前提条件 (①)大学附属病院等(予定)	②順天堂大学医学部附属 浦安病院	③東京慈恵会医科大学 附属病院(本院)	④東京慈恵会医科大学 附属柏病院	⑤東京慈恵会医科大学 葛飾医療センター	⑥学校法人 獨協学園 獨協医科大学越谷病院	⑦防衛医科大学校病院	⑧さいたま市立病院
立地条件	・浦和美園駅から徒歩約1km	・JR京葉線 新浦安駅から800m(徒歩10分) ・首都高速湾岸線「浦安」出口から約2000m	・都営三田線 御成門駅から300m(徒歩3分) ・首都高速「芝公園」出口から約3分	・JR常磐線 北柏駅から800m(徒歩10分)	・京成線 青砥駅から800m(徒歩10分)	・JR武蔵野線南越谷駅、東武スカイツリーライン新越谷駅から150m(徒歩3分)	・西武池袋線・新宿線・国分寺線、航空公園駅から300m(徒歩5分) ・所沢ICより車で約20分	・JR京浜東北線 北浦和駅から15分
敷地面積(m ²)	約7.3万m ²	約2.1万m ² ※6	約0.9万m ² ※5	約3.5万m ² ※5	約1.2万m ² ※5	約1.4万m ² ※2	約6.5万m ² ※4	約5.6万m ² ※2
延べ床面積(m ²)	-	約6.5万m ² ※1 (H29.5 3号館竣工後の面積)	約5.2万m ² (中央棟のみ)	約4.6万m ² ※3	約2.8万m ² ※3	-	-	約3.8万m ² ※2
病床数(床)	800	785 ※1 (H29.5 3号館竣工後の面積)	1075 ※1	664 ※1	365 ※1	923 ※1	800 ※2	567 ※2
職員数(人)	1400+100=1500 (ア)	1449 ※2	2532 ※2	1162 ※2	707 ※2	1643 ※1	737 ※2	821 ※1
うち看護師(人)	900	692 ※2	1036 ※2	656 ※2	385 ※2	776 ※1	434 ※2	506 ※1
うち事務職員・その他職員(人)	250	-	373 ※2	-	-	-	249 ※2	49 ※1
学校関係者数(人)	-	1043 ※4	2483 ※3	-	-	-	-	-
うち教職員(人)(非常勤含む)	-	177 ※4	1650 ※3	-	-	-	-	-
うち学生(人)	240+90=350 (イ)	866 ※4	833 ※3	255	-	-	-	-
平均外来受診者(人/日)	2200	(ウ) 2181 ※2	2769 ※1	1528 ※2	1141 ※1	1,750 ※1	1196 ※1	954 ※1
平均入院患者(人/日)	780	617 ※2	867 ※1	572 ※2	302 ※1	702 ※1	463 ※1	460 ※1
医療機能(診療科数)	-	31科(平成29年4月1日現在) ※3	32科(平成29年4月1日現在) ※1	25科(平成29年4月1日現在) ※1	18科(平成29年4月1日現在) ※1	23科(平成29年4月1日現在) ※1	28科(平成29年4月1日現在) ※1	27科(平成29年4月1日現在) ※1
主な附属施設	大学院教育・研究施設、医療系学部施設、教職員・学生用宿泊施設 等	売店、喫茶店 ※3	レストラン、喫茶店、コンビニエンスストア、書店、生花店、理容室等 ※1	売店、コンビニエンスストア、レストラン、生花店、理容室等 ※1	コンビニエンスストア、喫茶店、生花店 ※1	コーヒーショップ、食堂、売店、銀行ATM ※1	院内売店、外来者用食堂、理容、美容 ※1	売店 ※2
駐車場台数	-	336 ※3	186台 ※1	509台 ※1	127台 ※1	202 ※2	280 ※1	310 ※3
周辺施設	大学院(医学研究科)併設予定	調剤薬局(5店) 順天堂大学浦安キャンパス(看護学部) ※5	調剤薬局(1店) 慈恵医科大学西新橋キャンパス ※4	調剤薬局(7店) 慈恵看護専門学校 ※4	調剤薬局(4店) ※4	ドラッグストア(10店) ※3	ドラッグストア(7店) ※3 国立障害者リハビリテーションセンター ※3	調剤薬局(6店) ※4
※出典資料	・黒字は埼玉県議会提出資料 ・赤字は「平成28年病院運営実態分析調査の概要1」に記載されている100床あたりの人数または面積から推計した概算値(2017.3.6時点) ・青字は埼玉県議会提出資料に看護学校や先進医療分の人数を想定 ・緑字は他の医療施設の事例を参考に設定	※1順天堂大学発行資料(2014.2.7発行) ※2順天堂大学医学部附属浦安病棟の採用情報記載のHP(2017.9.27時点) (⇒増床前のスタッフ数であると想定される) ※3順天堂大学医学部附属浦安病院HP(2017.9.27時点) ※4順天堂大学作成資料 ※5グループマップによる調査 ※6航空写真による図上求積	※1東京慈恵会医科大学附属病院HP(2017.9.27時点) ※2「東京慈恵会医科大学附属病院の業務に関する報告」(2015.10.3時点) ※3学校法人慈恵大学HP(2017.10.16時点) ※4グループマップによる調査 ※5航空写真による図上求積	※1東京慈恵会医科大学附属病院HP(2017.9.27時点) ※2東京慈恵会医科大学附属病院の採用情報記載のHP(2017.9.27時点) ※3建通新聞記事(2013.8.1時点) ※4グループマップによる調査 ※5航空写真による図上求積	※1東京慈恵会医科大学附属病院HP(2017.9.27時点) ※2東京慈恵会医科大学附属病院の採用情報記載のHP(2017.9.27時点) ※3竹中工務店HP(2017.9.27時点) ※4グループマップによる調査 ※5航空写真による図上求積	※1獨協医科大学越谷病院HP(2017.10.24時点) ※2がん情報サービスHP(更新日:2017/05/08) ※3日本全国ドラッグストア/調剤薬局マップ	※1防衛医科大学校病院HP(2017.10.24時点) ※2採用案内パンフレット(看護師(助産師)の方向け)(2017.10.24時点) ※3日本全国ドラッグストア/調剤薬局マップ ※4航空写真による図上求積	※1平成29年度病院概要 さいたま市立病院HP(2017.9.27時点) ※2さいたま市立病院HP(2017.9.27時点) ※3医療機関検索HP(2017.9.27時点) ※4グループマップによる調査